

社会 学習の手引き

1 社会科というけれど・・・

中学校で「社会」を学習するといいますが・・・、実は3つに分かれます。

地理・・・1～2年生で学習します

日本や世界の各地の自然や農業・工業等の産業について学習する

歴史・・・1～2年生で学習します。

日本の社会がどのように発展し、政治・経済・文化はどのように変化してきたかを学習します。

公民・・・3年生で学習します。

現在、私たちが生活する社会を考察し、日本の政治・経済のしくみや役割について学習します。

2 学習で大切なこと

(1) 授業を受ける前に

- ・まず教科書をきちんと読みましょう。(音読するかどうかは別にしてすらすら読めることが、どの教科でも大切です。)
- ・わからない言葉があったら調べましょう。

例)

源頼朝 × みなもとのよりあさ みなもとのよりとも

百姓一揆 ひゃくしょういっき

意味はわかりますか？

”江戸時代の支配者に対する農民の集団による抵抗”
という意味です。

- ・大切なところを確認しましょう。

どんなところが大切かな??

太字で書かれたところ(地名,人名,歴史的事実,法律名)

原因,結果,影響など・・・

図,資料など(もちろん全部ではありませんが・・・)

鉛筆で線を引いてみるといいね!

(2) 授業では

- ・準備物・・・教科書,ノート,地図帳,資料集
- ・まず,先生の話,友達の話をよく聞きましょう!!
(授業の前にどんなに準備しても,先生の説明を聞かないのでは意味がありません!)
- ・黒板の内容をきちんとノートに整理する
(聞いて理解したつもりでも,後になってみると忘れてしまいます。記憶を確実にするため,あとで振り返るためにしっかり記録しましょう。)

* 「自分だけわかればいい」ということで雑に書いている生徒も

いますが、ちょっと考えてほしいと思います。あまり雑だと、時間が過ぎると「何だかよくわからない。」ということが少なくないようです。また、「あまりに雑で見ると気がしなくなった。」というのもよく聞く話しです。また、長い目で見れば大人になって報告書を書く機会があったらどうでしょう？ノートは芸術品ではありませんがやはり、「ていねいな記録」が大切ではないでしょうか。

(3) 授業が終わったら

・もう一度教科書、ノートを見ましょう。平凡なことですが、授業を思い出すには、一番の方法です。

・配布されているワークで復習してみましよう。
 (言えることと、書けることは別なことです。書くことで記憶が定着します。間違えたところもしっかりチェックしておきましょう。)

* (1) ~ (3) を行うことで授業の内容が身につけていきます。

3 評価について

社会の評価の観点は次の4つです。

観 点	具体的な事柄
【社会への関心・意欲・態度】	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や他の生徒の話しをよく聞き、自分の考えを持つことができる。 ・課題に対して、意欲的に取り組もうとする。 ・提出物をきちんと提出している
【社会的な思考・判断】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の地理的な特色を地球の規模に応じて環境条件や人々の生活と関連づけて考察し、公正に判断する ・日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を考察し、公正に判断する。 ・現代の社会的事象から、その意義や役割、相互の関連を考察する。
【資料活用の技能・表現】	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や統計資料を活用し考察した過程や結果をレポート・表等にまとめ表現できる。 ・歴史的資料等から当時の様子を読み取り、まとめることができる。 ・新聞や各種統計からから、その特色を読み取りその結果をわかりやすくまとめることができる。
【社会的事象についての知識・理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の地域的特色を理解し身につけている。 ・日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し身につけている ・現代の政治や経済の基本的な考え方を理解しその知識を身につけている。

具体的に評価の対象になるのは

- ・普段の授業態度
- ・ノートの整理の仕方
- ・ワーク等への取り組み
- ・定期考査
- ・ミニテスト・・・

こういったものが評価の対象になります。気をつけてほしいのは普段の授業態度が占める割合が大きいということです。時々「試験がよければいいだろう」ということで授業や提出物の提出を軽くみる生徒がいますが、これは決していい評価にはつながりません